

# 和歌山スキー協通信

2022. 3. 4 (21-22 NO. 4)

雪はいっぱいなのに、各クラブの行事は残念ながら中止が相次いでいます。そんななか、県スキー協の木曾福島ツアー(2/8~10)は少人数ながら開催することができました。参加は木下・山本(きのくに)、中岡大(すべりや)の3名。きのくにの山本さんにレポートしてもらいました。

## 県スキー協2月ツアー

県スキー協主催の平日2DAY開催のきそふくしまツアーも、オミクロン株の猛威によりキャンセルが相次ぎ人数減少、先行出発予定だったきのくにツアーもあえなく中止に。

3人で向かうこととなり、無理を言って初日は深夜出発で野麦峠スキー場に。

初日の野麦峠と2日目のきそふくしまは、本当に天気も良く、ゲレンデはよく締

まりエッジが良く噛むコンディション。しかも、御嶽、乗鞍の両山が望める贅沢な2日間となりました。人数も少なく、各々自由なシュプールを描きながら楽しい時間を過ごしました。

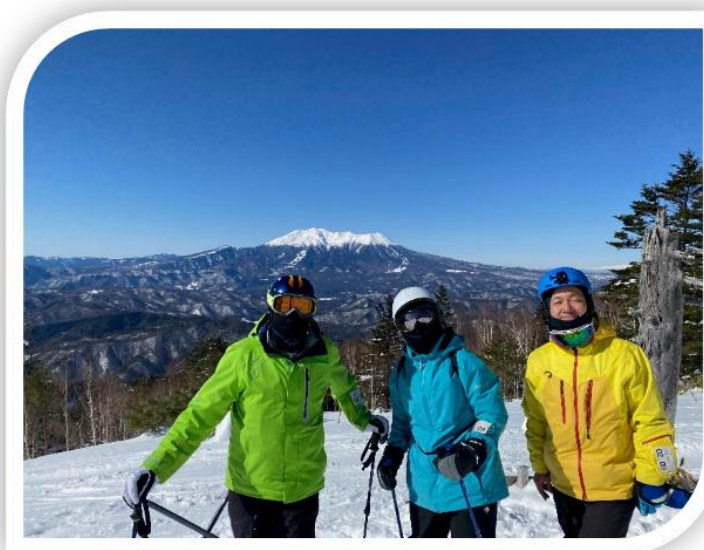
私は、中岡上級指導員とマンツーマンで滑れる贅沢なツアーとなり、動画撮影もしてアドバイスを受けながら、昼食や宿で動画を確認しながら、レベルアップを図る事が出来ました。

きそふくしまでは、没頭する位コブ練習をして、形の悪くなったコブをデラ掛けしながら滑り、気がつけば2時間滑りっぱなしだったり。有意義な3日間となりました。

最終日は湿気の多い雪の天候となり、新雪に覆われたゲレンデもすぐに荒れたため朝一からコブを掘り起こし、お昼の集合時間まで練習を積む事が出来ました。

今回は、動画を撮って頂けたため、自分の癖が分かりすごく理解を深めたツアーとなりました。

(きのくに 山本)



(最終日、20 cm超の重い新雪に中岡はへろへろでしたが、木下さんは「ふかふかで足に気持ちよかったです!」と、一人黙々と滑り続けていました。)

## 中岡滉（すべりや）が国体に出場！

第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会「美の国あきた鹿角国体2022」（2/17～20、秋田県鹿角市）の報告です。

みなさん、こんにちは。すべりやスキークラブの中岡滉です。

私は、1月10日に牧の入スキー場で行われた和歌山県の国体予選に参加し、本当にギリギリのところ国体に出場できることになりました。（和歌山県では、順位だけでなく、「トップとのタイム差が10%以内」という選考の基準があります。）

今年の国体は新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で行われることになり、選手・監督には出発120時間以内のPCR検査の陰性証明の提出が義務付けられていました。また会場入りしてからは、毎日の抗原検査、スキー場と宿舎以外の外出の自粛などさまざまなコロナ対策が行われました。少し不便な思いもしましたが、そのおかげで「国体からコロナが広がった」といわれることもなくよかったです。

会場となった秋田県の花輪スキー場は大会のためにつくられたようなスキー場で、ほとんどコースがありません。その中の大会バーンは30度を越える斜面と、S字に曲がるカーブ、カチカチに凍ったバーンと、とてもレベルの高いコースで、一緒にいていた和歌山県の選手の方は「日本でもトップレベルの難コース」といっていました。また、国体はバーン保護のため、そのコースを滑ることができたのは横滑りで1回と、フリー滑走1回のみで本番を迎えることになりました。



写真はスキー協全国大会の際のものです。

私が出場した成年男子Aは大会2日目の2月18日に試合が行われました。コースは思った以上に振っているわけではありませんでした。が、一ヶ所失敗するとその失敗をずっと引きずるようなコースでした。

少し緊張しながらスタートに立つと、緊張感が一気に高まり、そのままスタートをきりました。とても引き締まったバーンに何度も板を弾かれながらも滑っていましたが、コースの真ん中の辺りで板を外してしまい、DF（※Did not Finishの略。途中棄権のこと。）となってしまいました。結果を残すことはできませんでしたが、とてもよい経験をすることができました。また来年も国体を目指してがんばろうと思います。

みなさんも是非ポールをやってみませんか？

# 全国競技大会で全員入賞！

2月26日、スキー協の「第48回全国スキー・スノーボード競技大会」が開かれました。



当初は土日の2日間で大回転と回転の2種目を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況から一日目の大回転のみで大会を開催するということになりました。会場の「湯の丸スキー場」は、中央分水嶺が通っており、長野県といえどもすぐそこ（写真の2〜30メートル右）はもう群馬県というところでした。コロナの影響は厳しく、参加者は全体で68名と寂しかったものの、和歌山からは初参加の吉田さん（SAJのクラブに所属の方）を含む4名が出場し、全員がそれぞれの部で入賞して賞状をもらいました。今年は障がい者の部に速い選手が多く、いつも得点をいっぱい稼いでくれる石倉さんもメダルに届かず、都道府県対抗では7位でした。

## 障がい者の部（男子）

4位—石倉充敏（シュカブラ）

タイム 1分33秒46

## 男子4部（60～65歳未満）

6位—吉田政司（和歌山県スキー連盟）

タイム 1分21秒49

## 男子3部（55～60歳未満）

4位—中岡 大（すべりや）

タイム 1分26秒21

## 男子1部（45歳未満）

5位—中岡 晃（すべりや）

タイム 1分13秒73

（※タイムは1本目、2本目の合計タイム）



## 新日本スポーツ連盟、「ロシアのウクライナへの武力侵攻について声明文」発表

どのような理由でも 武力侵攻は許されない。  
自ら提案した「オリンピック休戦」決議にも違反する

ロシア軍によるウクライナへの武力侵攻は、どのような理由をつけても許されません。ロシアも含む173ヶ国が共同提案し国連で採択された、北京オリンピック・パラリンピック期間の「オリンピック休戦決議」を真っ向から否定するものであり、平和を不可欠とするスポーツとは相容れません。

新日本スポーツ連盟は、「スポーツは平和とともに」のスローガンをもとに平和の文化であるスポーツをひろげる団体として、核兵器による悲惨さを体験した国のスポーツ団体として、平和憲法を持つ国のスポーツ団体として、ロシア軍の即時撤退を求めます。スポーツを愛好するすべての人々が、“ウクライナへの武力侵攻を許さない” “戦争をやめ、交渉での解決を” の声をあげ、戦争をやめさせ、平和な世界を実現するために世界のスポーツ界と連帯することを呼びかけます。

2022年3月1日

新日本スポーツ連盟 会長 石川正三、理事長 長井健治

## 関西ブロック スプリングレベルアップ

4/1（金）～3（日）志賀高原。締め切り—3/21（月）。  
雪はたっぷり。まだまだ滑れます！

詳細は各クラブを通してお届けし  
てある要項をご確認ください。



## スキーマイトに和歌山のメンバーが

全国スキー協機関紙「スキーマイト」NO.192（2022年1月号）には、和歌山スキー協のメンバーが記事や写真でたくさん登場しています。

池口・岸裏・辻本・中岡滉・中岡大の5名がどこに載っているか、すべて見つけた方には豪華なお祝いの言葉をプレゼント（!）

「スキーマイト」は年5回発行で一冊320円。新規で定期購読をお申し込みの方は1年間1000円で購読できます。ぜひご購読を！

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail [dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp](mailto:dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp)

和歌山スキー協ホームページ <http://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>